



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

万葉のまち 市辺

第41号

平成29年10月



9月24日、熱気球関西例会が係留フライト
八日市西小学校の希望した児童が青空へ

発行:市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2391
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392
ホームページ 万葉のまち市辺 ichinobe.com

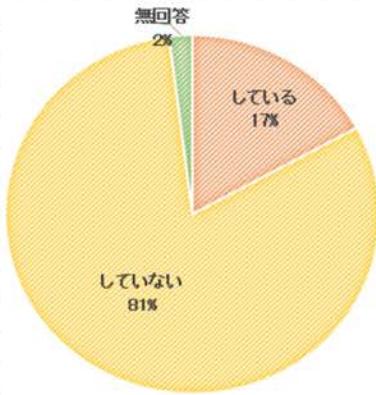


万葉のまち市辺 検索

減災アンケートについて

私達は、昨年度から減災のまちづくりを目指して取組みをはじめました。まちづくり計画の見直しにあたっても、減災への取組みを大きな柱に取り上げ、市辺地区全体が減災意識を高めると共に、いざという時の心構えや備えを勉強し、実践につなげるよう活動を進めたいと考えています。

家具等の転倒防止やガラスの飛散防止の対策



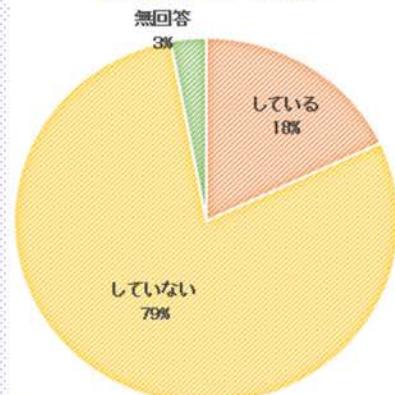
アンケート結果」を各戸に配布し報告をさせて頂きました。

アンケートは、いつ発生してもおかしくない、地震に特化した設問にいたしましたが、地震が起きた時に「自分の命は自分で守る」という、自助の備えが不足していることがわかりました。同時に、高齢の方や障がいをお持ちの方から不安の声も寄せられています。

また、家族の安否確認についても考えなければならぬ一面があることが示されました。これらの結果をふまえ、減災のまちづくりプロジェクトを中心に、自治会連合会の皆さんと緊密に連携し、具体的な活動を展開することとしました。

その一端を紹介しますと、まず、自助の考え方や具体例を中心減災のまちづくりだよりを発行すること。次に、自主防災組織の未だ作られていない自治会への組織づくりの協力や既組織の活性化への提言をおこなうこと。また、高齢者や障がいを持っておられる方の避難を含めた防災訓練を実施すること。

万一の場合の連絡方法を話し合っていますか



今後、自治会連合会との連携はもとより地区住民の皆さんの協力を得て、各々の活動を実りあるものにしたいと考えています。

(市辺地区まちづくり協議会 副会長 榎木 貞夫)

東近江市まちづくり協議会 交流会開催される

9月19日午後2時より東近江市商工会議所大ホールにおいて、各まちづくり協議会代表と地域担当職員総勢130名が参加して東近江市まちづくり協議会交流会が開催されました。本年は、まちづくり協議会設立から10年になる節目の年を迎えてのことから、交流会開会式の後、各地区的取組について、互いに学び、磨き合うことを目的に「まちづくり自慢大会」が行われました。

今年は、南部、愛東、平田、湖東、建部、永源寺、御園の7地区が、日頃の活動自慢を持ち時間7分を目一杯使っての熱弁でした。安全安心、環境、福祉、まちおこし等を取り上げられています。

参加者からの質問、助言等を集約して、コーディネーターの川北秀人さんから、各まちづくり協議会への質問、助言指導等があり、大変有意義なヒントがあり良かったと思います。午後5時30分過ぎより懇談会があり一層交流を深めることができました。各地区共役員をはじめ活動している人の高齢化が目立ち、世代交代が課題という声が多く聞かれました。

ホームページ閲覧数が 10,000人に

公式ホームページ「万葉のまち 市辺」が、2015年7月にリニューアルしてから10,000人の方にご覧いただきましたが、そのメモリアルデーは、2017年8月26日でした。これからも、より魅力のあるコンテンツと画面作りをしていきたいと思っています。皆様方のご意見や投稿記事の寄稿をお願いします。また、広報活動に興味のある方は、是非広報部まで連絡をお願い致します。

その他の到達点(2017年9月1日現在)

総訪問者数	10,086人	総閲覧数	18,745件
最高訪問者日(60)	2015年8月28日	最高閲覧日(177)	2015年8月24日
平均訪問者数/1日	12人	平均閲覧数/1日	22件

ご覧いただいたページ「ベスト5」()数字は訪問数

1. ホーム (5,626)
2. 第三回 蒲生野万葉短歌会 短歌大募集!! (443)
3. 蒲生野万葉短歌会「中学生の部」 (376)
4. 市辺地区の歴史 (297)
5. 蛇溝の地蔵堂(蛇溝町の古文書より) (242)

市辺れきし発見塾

「農村の昔のくらし」

7月15日、市辺コミュニケーションセンターに於いて歴史文化部のれきし発見塾「農村の昔のくらし」が開催され29名が参加されました。講演をされた粕淵宏昭氏は、元滋賀県立高等学校教諭で滋賀民俗学会理事をされておられます。



講演は、正方形の団扇の下の角が取れ、丸い団扇になり、扇子へと変わってきた歴史との話から始まりました。鎌や鋤など農具の現物を示し、また、作業着の実物を身に着けての熱演に爆笑でした。

進化してきた農村の暮らしの話を、民俗学の視点でおもしろく分かり易く話されました。

このまち「にの人」

祝 安原海晴君 ジュニアオリンピック出場へ

船岡中学校1年、安原海晴君（13）布引台2丁目が、8月8日京都市西京極陸上競技場で開催された近畿中学校陸上競技大会1年男子1,500mでジュニアオリンピックの標準記録を突破で優勝され、10月27日（金）から10月29日（日）横浜で行われるジュニアオリンピックに出場されます。

安原海晴君は、陸上経験のあるご両親のもと幼稚園の頃から一緒に走り始め、小学校3年から6年まで東近江陸上スポーツ少年団で「走る楽しさ」を感じたそうです。

布引小学校の6年間は、走るといつも1位という成績でした。今春4月、船岡中学校に入学、早速、創作部（体力づくり）に入り、現在は毎日1時間30分ほど、距離にして3kmから5kmの練習を重ねています。「自己記録1,500m4分19秒（7月記録）を破ることは勿論ですが、夢はオリンピックを目指す目標を持っていました」とハッキリ言ってくれました。

海晴君のお兄さんは、今年3月に船岡中学校を卒業されていますが、中学校時代には全国都道府県対抗男子駅伝（広島）の滋賀県代表で活躍されました。

安原さんの今後益々のご活躍に期待し、ご兄弟を応援しています。



「御代参街道について」

好評のまち協歴史文化部主催で開催されている「市辺れきし発見塾」。次回は、「御代参街道について」の講演会が行われます。講師は中島伸男氏で、東近江市の歴史を知る上で「御代参街道」は非常に興味深い話です。講師の中島伸男氏は八日市市史編纂室の室長でしたので、広く市辺の歴史についての話ををお願いしています。特に「御代参街道」沿いにある、長谷野地蔵と蛇つなぎ石についても、詳しく話して頂きます。

また、戦中戦後の研究もされていますので、当時の市辺についての話もして頂く予定です。非常に興味深い話に期待して、ぜひ講演会への参加をお願いいたします。

講演 「御代参街道について」

講師 中島伸男氏

日時 11月26日（日）午後1時30分より

場所 市辺コミセン

第5回「蒲生野万葉短歌会」 1,755句の応募

10月29日（日）に行われる「いちのべ万葉フェスタ」に向けて取り組まれている「蒲生野万葉短歌会」も5回目を迎え、全国から1,755首の応募がありました。出詠数では昨年の1,632首を上回っており、中学校の部、小学校の部の出詠数が大幅に増えたのが特徴で、蒲生野短歌会にとって将来が楽しみです。

今回の応募は、一般の部では、東近江市内、滋賀県内はもとより北海道、青森、山形、茨城、埼玉、東京、神奈川、岐阜、奈良、京都、大阪、和歌山、岡山、香川、福岡から42人から88首が寄せられています。

また、学校関係からは、小学校の部は、東近江市内12校の228人から404首が寄せられ、中学校の部は、8校713人から1,263首の応募を頂きました。

いちのべ万葉フェスタでは、一般の部は、蒲生野大賞、紫野賞、標野賞、佳作6首のが選ばれ、中学校の部、小学校の部は、それぞれ優秀賞、いちのん賞、いちのべ賞、佳作3首の入選者が表彰されます。また、蒲生野大賞などに入選した短歌は、あかね会の皆さんにより朗詠される予定です。（下の写真は昨年の朗詠風景）



部会だより

子ども健全育成部

周りの田んぼが黄金色に色づいてきたと思っていたら、あっと、いう間に刈り取られました。別の田んぼでは、秋野菜が青々と色づきみのりの秋を、肌で感じております。

さて、子ども健全育成部は、「親子、凧を作つて揚げよう大会」を、開催する予定です。開催日時は12月2日13時30分より、コミュニティセンターにて、いつものように、子ども会連合会、地域教育協議会の皆様方の御協力を頂いて行います。一人でも多くの方々と、自分だけのたこを作つて、楽しく揚げたいと思います。多くの参加をよろしくお願ひいたします。

安全・安心部

安全安心部は夏期の防犯パトロールに参加させて頂きました。年末の防犯パトロールにも参加を予定しています。また、市辺地区の防災マップが完成しましたので、ふれあい運動会の際に展示後、各地区の自治会に配布させて頂こうと考えています。防災マップの作成を通して「交通に関する危険箇所」が多くの住民の方から指摘される結果となりました。安全安心部としましても今後「交通安全」についての具体的な取り組みができるように現在検討をしています。

地域活力部

- 4月 本年度も当部でのムラサキの苗の育成に失敗
- 5月13日(土) 東近江市ムラサキを育てる会の会合に出席、会よりムラサキの苗96本頂く
- 5月27日(土) まち協役員・会員有志の協力により船岡山万葉公園ムラサキの苗を植栽
- 6月上旬～中旬 この時期降雨が非常に少なく、週に2回程度水やりを含む維持、管理
- 7月23日(日) まち協役員・会員有志の協力により除草作業(ムラサキ20株生存)
- 7月29日(土) ムラサキの生存状況確認(20株生存)
- 8月20日(日) (ムラサキ3株生存)
- 10月 いちのべ万葉フェスタのお手伝い
- 12月 ムラサキ栽培について懇談会

今後の活動予定として、11月に来年度のムラサキの種の準備。船岡山万葉公園内の栽培方法と植栽場所を検討します。

なお、広さは畳一枚程度を予定しています。

健康・福祉部

8月5日、14名の方のご参加を頂き、第一部は幻のラジオ体操第三の実技指導を東近江市地域振興団の小森様他2名の方より受けました。健康福祉部で初めての試みでしたが、なかなかの好評でした。老化は足からくると言われますが、食と同じように運動にも気を付けたいと思います。

第二部は、旨みを引き出す料理法の講義でしたが、講義だけで料理法をうまく分かって頂くのは、ちょっと難しいかと思いました。最後に無農薬コーヒーと天然酵母パンを頂きました。

11月26日にマクロビオティック料理を予定していましたが会場の都合で、11月25日(土)なりました。精進料理の定番の生麩を中心に五品程度作ります。おせち料理の一品に加えて頂ければと思います。命を育む料理です。多くの方のご参加をお待ち致しております。

自然・環境部

皆さん、ゴーヤは元気に育ちましたか。今年の夏もかなり厳しい暑さでした。ゴーヤカーテンは遮光、遮熱の他体に良い料理にも活躍したと思います。さて、5月に植えたサツマイモも、今年は雨にも恵まれ、順調に育っています。今年はいも掘り体験の募集をさせて頂きましたところ、次々と申込みを頂いています。

さて、東部では、今年第二農園でおいしい大粒丸大豆を栽培しています。部員で蒔種、移植、芽摘み、土寄せを済ませました。堆肥育ちの大豆。収穫は年末になりますが、年明けには皆さんに呼びかけて豆腐作りをやりたいと考えています。

市辺の皆さんと共に収穫を喜び、堆肥の魅力を今一度感じて頂ける機会になればと思います。その節は奮ってご参加をお願い申し上げます。

編集後記

北朝鮮が8・9月に弾道ミサイル発射や9月には更に核実験と挑発をエスカレートさせている。特に今回の核実験威力は、広島に投下された原爆の10倍に相当すると見られている。日本政府は、日米韓はもとより、国際社会と連携し、北朝鮮に対する包囲網を構築したい考えだ。

北朝鮮のこれ等の動きは、米国に対する抑止力を確保するため、より大きな破壊力を持った核兵器の完成を目指している。

この広報誌が届く頃の情勢は定かでないが、これを災害とみるとには異論があろうが、あらゆる災害に対する備えが求められていると思う。(北)